

「軽度認知障害保障特約」の発売 「認知症予防ホッとサービス」の提供

朝日生命保険相互会社（社長：木村 博紀、以下「当社」）は、**2020年4月2日**より、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）※を保障する「**軽度認知障害保障特約**」（正式名称：**無配当軽度認知障害保障特約（返戻金なし型）**）を発売します。

あわせて、「脳トレ」をはじめとした認知症予防に役立つ「**認知症予防ホッとサービス**」を提供し、お客様一人ひとりの認知症予防に対する取組みをサポートします。

日本の高齢化が進展する中、認知症への対応が社会的な課題となっていますが、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）においては、早期発見および一定の取組みを行うことで、症状の改善や認知症の発症を予防できることがわかってきています。

当社ではこの点に着目し、新たな生命保険商品とサービスを提供することとしました。

※軽度認知障害（MCI）とは、物忘れが主な症状ですが、日常生活への影響はほとんどなく認知症とは診断できないため、健常な状態と認知症の中間ともいえる状態です。

軽度認知障害は、認知症の前段階とも考えられており、MCI（Mild Cognitive Impairment）とも呼ばれています。
厚生労働省「e-ヘルスネット」を基に作成

「軽度認知障害保障特約」のポイント

軽度認知障害(MCI)を一時金で保障

軽度認知障害（MCI）の診断確定で一時金をお支払いします。一時金は、認知症予防や健常な状態への回復に向けた取組みにご活用いただけます。

要介護1以上で保険料払込免除

公的介護保険制度の要介護1以上の認定で、主契約と同時に、保険料の払込みが免除となります。

器質性認知症も保障

軽度認知障害（MCI）の診断を受けることなく、器質性認知症※と診断確定された場合にも、一時金をお支払いします。

※器質性認知症とは脳神経細胞が異常をきたしており、一度獲得された知能が持続的かつ全般的に低下した状態をいいます。

「認知症予防ホッとサービス」のポイント

早期発見・早期予防に役立つ充実のサービス

軽度認知障害（MCI）・認知症の早期発見や早期予防に役立つ各種サービスを提供し、保障面だけではなくサービス面でもお客様をサポートします。

1. 「あんしん介護」シリーズとサービスの全体像

「民間介護保険の普及は当社の社会的使命である」という考えのもと、介護に備える商品として「あんしん介護」シリーズを提供しております。

このたび、「あんしん介護」シリーズのラインナップに「軽度認知障害保障特約」を追加し、認知症保障の更なる充実を図ることで、社会に貢献できるよう、取り組んでまいります。

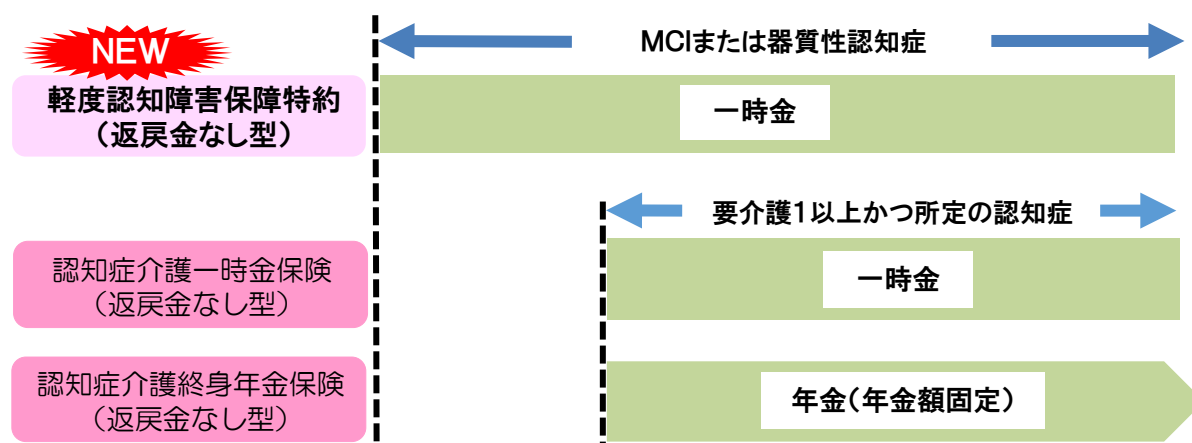
また、「認知症予防ホッとサービス」により、商品とサービスの両面でお客様をサポートします。

※下記は「あんしん介護」シリーズの保障範囲のイメージです。

【商品面】

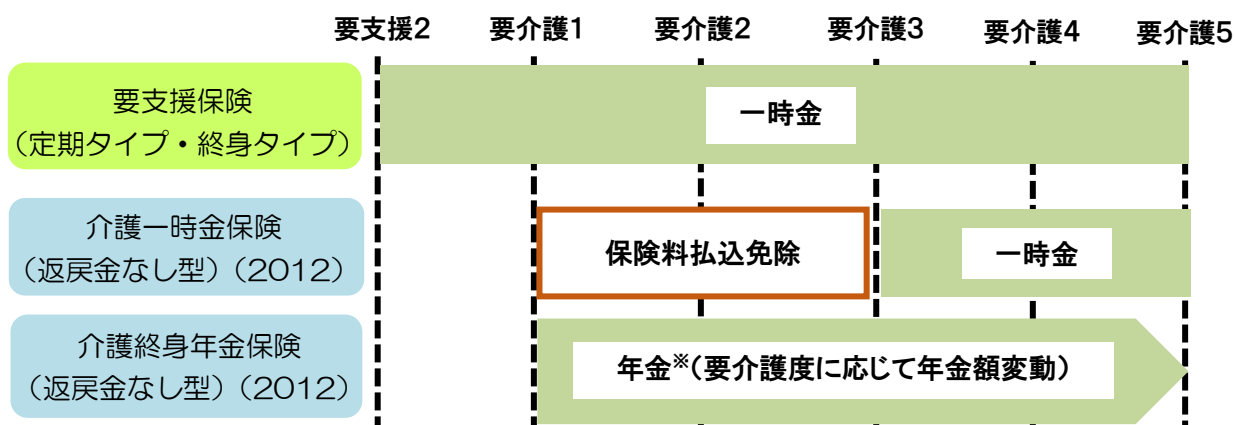
「あんしん介護」シリーズのラインナップ

<認知症保障>



※「認知症介護一時金保険」「認知症介護終身年金保険」「軽度認知障害保障特約」は公的介護保険制度の要介護1以上の認定で保険料の払込みが免除となります。

<介護保障>



※年金支払開始と同時に以後の保険料の払込みは不要となります。

【サービス面】

NEW

認知症予防ホッとサービス

MCI・認知症の早期発見や早期予防に取り組むためのサービスを提供

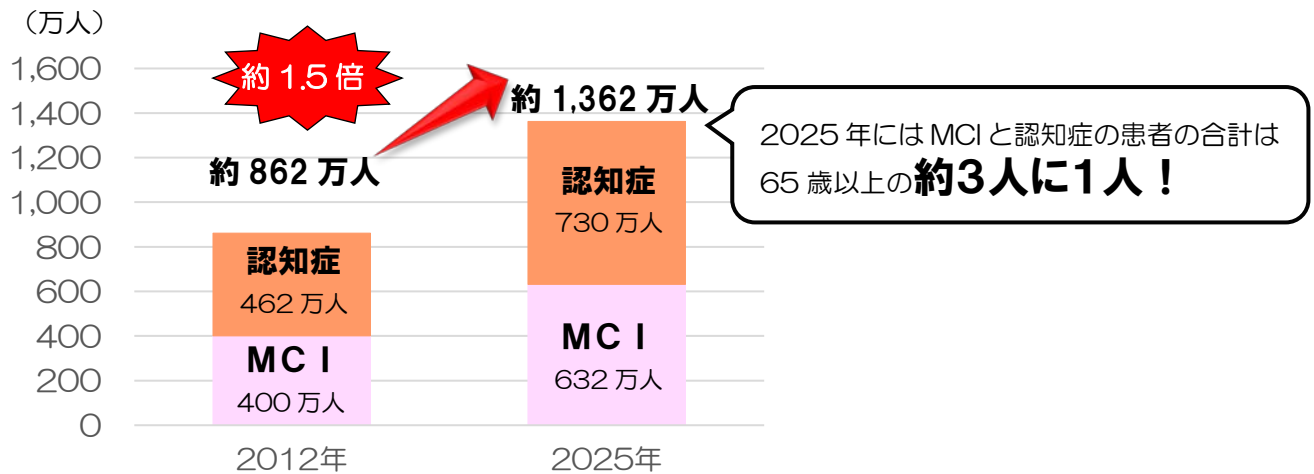
介護あんしんサポート

要介護状態でも安心して生活できる環境をサポートするサービスを提供

2. MCI・認知症をとりまく環境

【認知症患者（MCI 含む）の将来推計】

MCI と認知症の患者数は増加傾向にあり、2025 年には、65 歳以上の約 3 人に 1 人に相当すると推測されています。



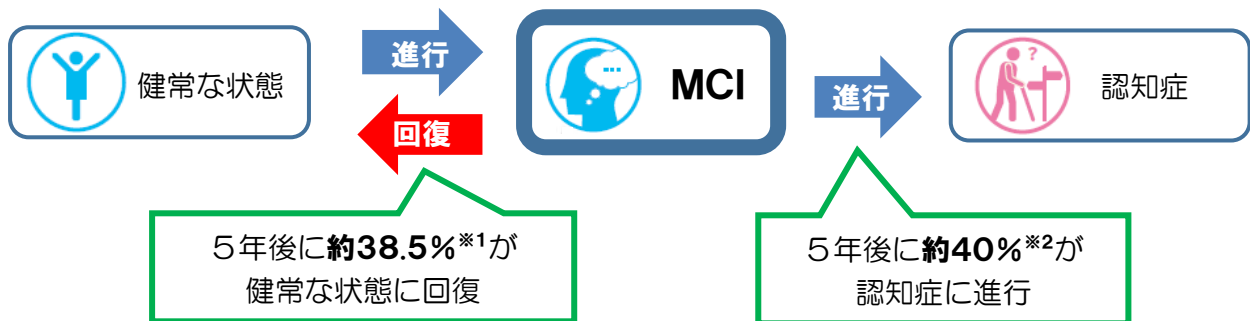
※65 歳以上を対象として、各年齢の認知症有病率が上昇する場合の数値を使用。

内閣府「平成 29 年度版高齢社会白書」、首相官邸認知症施策推進関係閣僚会議（第 2 回）資料、厚生労働省「今後の高齢者人口の見通し」より当社推計

【認知機能低下のイメージ】

認知症はその性質上、完全に回復することは見込めないものの、早期発見・早期治療により、進行を緩やかにすることが期待できます。

また、認知症の前段階である MCI では早期発見および一定の取組みを行うことで、健常な状態への回復や認知症への進行を予防できることがわかってきています。



※1 厚生労働省老健局「認知症施策の総合的な推進について（参考資料）」

※2 厚生労働省「e-ヘルスネット」より、年間で 10% の人が認知症に進行すると仮定して当社試算

【健常な状態への回復に向けた取組みにかかる費用例】

●もの忘れドック等でのチェック

画像診断や血液検査等により定期的に検査し、認知症の早期発見や認知機能の状態をチェックします。

＜費用＞約 3 万円～十数万円/回

※年に 1 回受診した場合。原則保険適用外となりますが、一部保険適用となることがあります。

●デイケアによる認知機能アップのための取組み

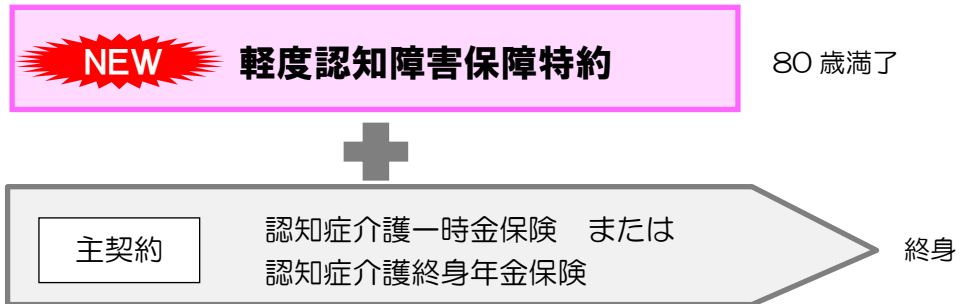
病院に通い、運動や脳トレ、音楽、絵画などのプログラムにより、楽しみながら、認知症の予防や健常な状態への回復に取り組むことができます。

＜費用＞約 5 千円～1 万円/月

※月に 4 回利用した場合。サービス内容によって料金は変わります。

3. 「軽度認知障害保障特約」の商品概要

(1) 仕組み（イメージ図）



※「認知症介護一時金保険」「認知症介護終身年金保険」の保険期間が終身、「軽度認知障害保障特約」の保険期間が80歳満了の場合のイメージ

(2) 支払事由

	支払事由	給付金額	支払限度
軽度認知障害給付金	次のいずれかに該当したとき ①軽度認知障害と診断確定されたとき ②器質性認知症と診断確定されたとき	軽度認知障害 給付金額	1回

・軽度認知障害保障特約の責任開始の時は、保険期間開始の日からその日を含めて90日を経過した日の翌日です。

(3) 取扱金額

5万円以上30万円以下（1万円単位）

(4) 保険料例

※軽度認知障害給付金額 10万円 月払口座・クレジットカード扱料率

契約年齢	保険期間 ・保険料払込期間	80歳満了	
		男性	女性
40歳		203円	159円
50歳		302円	241円
60歳		506円	427円
70歳		920円	858円

(5) 契約年齢範囲

40～70歳

(6) 保険期間・保険料払込期間

60～80歳の間で主契約に応じて設定いただけます。

4. 「認知症予防ホットとサービス」

今般、「軽度認知障害保障特約」の発売に伴い、認知症に関する各種サービスを充実いたします。
認知症になった場合の保障およびサービスに加え、MCI・認知症の早期発見や早期予防に役立つ「認知症予防ホットとサービス」を提供し、お客様の不安やニーズにお応えします。
なお、各種サービスは「介護・認知症サービスサイト」からどなたでもご利用いただけます。

※「介護・認知症サービスサイト」(URL: https://anshinkaigo.asahi-life.co.jp/anshin_support/)

上記 URL・二次元コードは 2020 年 4 月 2 日より利用可能です。

二次元コード



ポイント

知る

介護・認知症に関する情報提供

チェックする

認知機能低下の早期発見をサポート

予防する

認知機能低下の早期予防をサポート

相談する

認知症 (MCI 含む) と介護の症状や不安の相談をサポート

概要

知る

■介護・認知症コラム (監修: さちはなクリニック・淑徳大学)

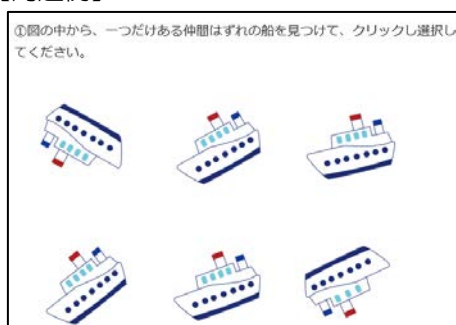
Web 上で介護・認知症の基礎知識や専門医のコラムなど正しく認知症予防に取り組むために必要な情報をご提供します。

チェックする

■認知機能チェックサービス (提供: (株) エス・エム・エス)

Web 上で 5 分ほど簡単な問題に回答するだけで認知機能を測定できる認知機能チェックサービスをご紹介します。MCI・認知症の早期発見にご活用いただけます。

【問題例】



【チェック結果】



10 問程度の問題が出題されます。問題は毎回ランダムに変わるため問題と回答を覚えてしまうということがなく、継続的に認知機能の測定ができます。

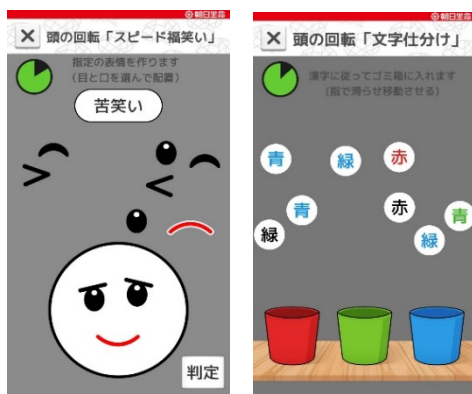
※本サービスの利用により得られる結果は認知症等の疾病に関する医学的診断を行うものではありません。

予防する

■脳トレアプリ「朝日生命 Active Brain CLUB」 (提供：(株) NeU)

脳科学の第一人者である川島博士が開発した脳トレアプリ「Active Brain CLUB」を本サービス専用にカスタマイズして朝日生命特別価格（月額 200 円）でご提供します。脳トレで脳を活性化することにより、認知機能の維持・向上にご活用いただけます。

【脳トレ画面】



【記録画面】



脳トレアプリはコチラからダウンロードいただけます。(2020 年 4 月 2 日より利用可能)



- ・毎月 3 種類の新しい脳トレをご提供しますので、楽しく継続することができます。
- ・脳年齢チェックとトレーニング記録で脳トレの効果を実感することができます。
- ・ご家族の ID・パスワードを連携すれば、ご家族でトレーニング状況を共有できる機能もあるので、ご家族で脳トレに取り組むことができます。

■ヘルスケアアプリ「kencom×ほけん」 (提供：DeSC ヘルスケア (株))

歩数計測など日々の健康管理を楽しく継続できるヘルスケアアプリ「kencom×ほけん」をご提供します。生活習慣と認知症の発症リスクには関係があることがわかっており、アプリを通して運動に取り組むなど生活習慣を改善することで認知症予防が期待できます。

【健康情報】



【歩数計測】



【発症リスク予測】



- ・役立つ健康情報や健康レシピなどが毎日配信されます。
- ・自動歩数計測や体重の記録など日々の健康管理ができます。
- ・健康診断の結果を入力することで生活習慣病（糖尿病・心血管病）の発症リスクを確認できます。

相談する

■医療機関検索「認知症地域支援マップ」 （提供：エーザイ（株））

お近くの認知症に対応可能な医療機関や地域包括支援センターを位置情報・住所などから検索できるサービスをご紹介します。

■認知症電話相談 （提供：（公財）認知症予防財団）

認知症に関する相談に看護師・カウンセラー・ソーシャルワーカーなどの専門家が答えてくれる電話相談サービスをご紹介します。

■家族信託相談 （提供：（司）オーシャン・（行）オーシャン）

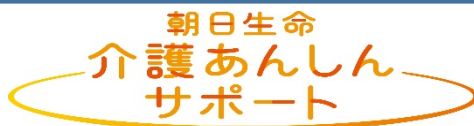
認知症による財産凍結への備えとして家族信託について司法書士、行政書士に電話・対面相談ができます。

■MCI スクリーニング検査案内 （提供：（株）MCBI）

少量の血液検査でMCIのリスクを調べられるMCIスクリーニング検査を受診できる医療機関と検査手順をご案内します。

<介護あんしんサポートの概要>

介護を受ける方も介護をするご家族の方も安心して生活できる環境をサポートするサービス「介護あんしんサポート」も引き続きご提供します。



介護関連サポート

■緊急通報サービス（提供：ALSOK総合警備保障（株）／国際セーフティ（株））

緊急時に警備員がご自宅に駆けつける緊急通報サービスをご紹介します。

■介護施設体験利用料 無料（提供：（株）ベネッセスタイルケア）

介護施設への入居をご希望の方に、体験利用料を無料といたします。

※体験利用には適用条件があります。詳細は「介護・認知症サービスサイト」をご覧ください。

■後見人候補者紹介サービス（提供：（公社）成年後見センター・リーガルサポート）

成年後見人制度利用等に関する相談や後見人候補者の紹介を行います。

■介護・健康相談サービス（提供：（株）保健同人社）

介護や健康の悩みに専門家がお答えする電話相談サービスをご提供します。

保険関連サポート

■ご契約内容ご家族説明制度

ご契約者にご登録いただいたご家族に対して、当社からご契約内容やご請求の手続き方法を説明できる制度です。

■指定代理請求特約（2016）

受取人となる被保険者が保険金などを請求できない事情があるときにあらかじめ指定された「指定代理請求人」が代わりに請求することができる特約です。

■診断書取得代行サービス

診断書の取得が困難なお客様（要支援2・要介護1～5認定者または身体障害者手帳1～3級交付者）を対象に、保険金・給付金請求時の診断書取得を代行するサービスです。

＜認知症サポーターの養成＞



 朝日生命

当社では、今後ますます進展していく高齢化を見据え、厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン」事業に賛同し、当社職員の認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

当社の全役職員※が認知症サポーターとして、「誰もが安心して暮らせる社会づくり」に貢献していきます。ご加入後も充実のアフターサービスでお客様一人ひとりをサポートします。

※当社の認知症サポーター認定率は 100%です。

（休職者等除く 2018 年 12 月末在籍者）

このニュースリリースは、保険商品・サービスの概要を説明したものであり、保険募集を目的としたものではありません。なお、加入にあたっては所定の要件があります。詳細につきましては、「商品パンフレット」「ご契約のしおり-定款・約款」をご覧ください。